



# intra-mart IM-VisualDesigner

## Version 7.2

### リリース・ノート

第 6 版 2014/05/09

#### 1. はじめに

- (1) intra-mart IM-VisualDesigner はサーバモジュールとクライアントツールで構成されています。
- (2) intra-mart IM-VisualDesigner サーバモジュールが動作するには、intra-mart WebPlatform / AppFramework Version 7.2 が必要です。
- (3) 本ドキュメントは本製品固有の要件を記載しています。以下に記載のないものは、intra-mart WebPlatform / AppFramework のドキュメントを参照ください。
- (4) 弊社では、本ドキュメントに記載されている『検証済み環境』にて動作確認をおこなっています。
- (5) 弊社の提供するドキュメントに記述の無い全ての事柄は、サポート対象外です。
- (6) 本製品に関する、最新の技術情報やパッチ情報は次のサイトをご覧ください。  
Developer Support site : <http://www.intra-mart.jp/support/intramart.cgi>
- (7) 本製品に関するドキュメントは、下記のサイトにおいて最新のドキュメントが公開されています。最新のドキュメントをご利用ください。  
製品最新情報ダウンロードページ : <http://www.intra-mart.jp/download/product/index.html>
- (8) 本製品には、以下によって開発されたソフトウェアが含まれています。  
ソフトウェアのライセンスについては、各ライセンスシートをご参照ください。

OEM 製品	Version	licenses	URL
Straform	1.6C	OEM	<a href="http://www.wingarc.com/product/straform/">http://www.wingarc.com/product/straform/</a>

OSS 製品	Version	liceses	URL
Apache Axis2	1.4.1	ASL	<a href="http://ws.apache.org/axis2/">http://ws.apache.org/axis2/</a>

## 2. システム要件

### 2.1 サーバ要件

intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.2 のサーバ要件に準拠します。

### 2.2 クライアント要件

Web ブラウザ

ブラウザ	OS
Internet Explorer 7.0	Windows Vista SP2
Internet Explorer 8.0	Windows Vista SP2 Windows 7
Firefox 3.5	Windows Vista SP2 Windows 7

IM-VisualDesigner クライアントツール

OS	Windows Vista 32 ビット版 Windows Vista 64 ビット版 Windows 7 32 ビット版 Windows 7 64 ビット版
CPU	Pentium III 互換 600MHz 以上
メモリ	256MB 以上(768MB 以上推奨)
ハードディスク	100MB 以上

### 2.3 検証済み環境

次に弊社動作検証済み(推奨)の intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせを記します。弊社では次の環境をサポートしますが、intra-mart 製品以外(OS、JDK、DB、Mail サーバ等)に起因する問題が発生した場合は保証致しかねます。

#### 2.3.1 Service PlatformおよびServer Manager

サーバ OS	ミドルウェア
Windows Server 2008 R2 Enterprise	Java SE Development Kit 6u17 for Windows x64
RedHat Enterprise Linux 5.4 Advanced Platform	Java SE Development Kit 6u17 for Linux x64
Solaris 10	Java SE Development Kit 6u17 for Solaris SPARC
AIX 6.1	IBM SDK for Multiplatforms, Java Technology Edition, Version6.0

Intra-mart AppFramework の場合、ApplicationRuntime の動作する環境は、Web アプリケーションサーバ製品の仕様に依存します。

### 2.3.2 Web Server Connector (WebPlatform(Resin)のみ)

サーバ OS	ミドルウェア
Windows 2008 Enterprise Server 64bit	IIS7.5
RedHat Enterprise Linux Advanced Platform 5	Apache2.2.14 (DSO サポート版)

### 2.3.3 Application Runtime

intra-mart 製品	Web Application サーバ
intra-mart WebPlatform	Resin 3.1.9
	JBoss 4.2.3 GA
Intra-mart AppFramework	IBM WebSphere ApplicationServer Ver.7.0.0.11
	Oracle WebLogic Server 11g Release1(10.3.2)

### 2.3.4 データベース

データベース	サーバOS	接続方法	接続に必要なソフトウェア
Oracle Database 11g Release 2	RedHat Enterprise Linux Advanced Platform 5	JDBC (Type4 非XA)	Oracle JDBC Driver 11.2.0.1.0 (ojdbc6.jar)
Microsoft SQL Server 2008	Windows 2008 Enterprise Server R2	JDBC (Type4 非XA)	Microsoft SQL Server JDBC Driver 2.0
IBM DB2 9.7	Windows 2008 Enterprise Server R2	JDBC (Type4 非XA)	DB2 JDBC Driver (IBM DB2 9.7に付属) Type4
PostgreSQL 8.4	RedHat Enterprise Linux Advanced Platform 5	JDBC (Type4 非XA)	JDBC4 Postgresql Driver, Version8.4-701

- DB2 の JDBC ドライバは db2jcc.jar で検証しています。
- PostgreSQL8.4は、Unicodeでのみ検証しています。PostgreSQL8.4が他の文字エンコーディングの場合、文字化けが発生し易いことが確認されています。

## 2.3.5 検証環境

No	Web/Application サーバ	サーバ OS	JDK	データベース	サーバ OS
1	Apache2.2.14 (WebServer Connector) + intra-mart WebPlatform (Resin) (Resin3.1.9)	Solaris10	Java SE Development Kit 6u17 for Solaris SPARC	Oracle Database 11g Release 2	RedHat Enterprise Linux 5.4 Advanced Platform
2	IIS7.5 (WebServer Connector) + intra-mart WebPlatform (Resin) (Resin 3.1.9)	Windows Server 2008 R2 Enterprise	Java SE Development Kit 6u17 for Linux x64	Microsoft SQL Server 2008	Windows Server 2008 R2 Enterprise
3	intra-mart AppFramework (IBM WebSphere Application Server Ver7.0.0.11)	pSeries 64Bit AIX6.1	IBM SDK for Multiplatforms, Java Technology Edition, V6.0	IBM DB2 9.7	pSeries 64Bit AIX6.1
4	intra-mart AppFramework (Oracle WebLogic Server 11g Release1 (10.3.2))	RedHat Enterprise Linux 5.4 Advanced Platform	Java SE Development Kit 6u17 for Linux x64	Oracle Database 11g Release 2	RedHat Enterprise Linux 5.4 Advanced Platform
5	intra-mart WebPlatform (JBoss) (JBoss 4.2.3 GA)	Red Hat Enterprise Linux 5.4 Advanced Platform	Java SE Development Kit 6u17 for Linux x64	PostgreSQL 8.4.2	Red Hat Enterprise Linux 5.4 Advanced Platform

## 2.3.6 クライアント(Webブラウザ)

クライアントに関しては、以下の環境にて動作が確認されています(動作検証済バージョンのブラウザを推奨します)。

- WindowsVista + Internet Explorer 7.0
- WindowsVista + Internet Explorer 8.0
- Windows7 + Internet Explorer 8.0
- WindowsVista + Firefox 3.5
- Windows7 + Firefox 3.5

### 2.3.7 クライアント(デザイナツール)

デザイナツールに関しては、以下の環境にて動作が確認されています。

- WindowsVista
- Windows7

## 3. 制限事項

- (1) IM-VisualDesigner クライアントツールのインポート機能を使用するには、「StraformX Image Printer」が必要になります。「StraformX Image Printer」は IM-VisualDesigner クライアントツールのセットアップ時に、自動的に追加されます。64bit 版では「StraformX Image Printer」はインストールされません。64bitOS での実行時は、\*.DOC、\*.XLS、\*.PDF のインポートが使用できません。
- (2) IM-VisualDesigner クライアントツールでインポート可能な Word 文書は「MS-Office2000(MS-Word2000)、MS-OfficeXP(MS-Word2002)、MS-Office2003(MS-Excel2003)」です。「MS-Office97、MS-Word98、MS-Word2007」には対応していません。
- (3) IM-VisualDesigner クライアントツールでインポート可能な Excel 文書は「MS-Office2000(MS-Excel2000)、MS-OfficeXP(MS-Excel2002)、MS-Office2003(MS-Excel2003)」です。「MS-Office97、MS-Excel98、MS-Excel2007」には対応していません。
- (4) PDF ファイルからのインポートを行うには、あらかじめ AdobeReader がインストールされている必要があります。
- (5) AdobeReader の Version7.0 以降を使用して PDF ファイルをインポートした場合、正しく文字を抽出することが出来ない場合があります。詳しい制限事項については、「IM-VisualDesigner デザイナ ユーザーズマニュアル」の【4-5 PDF ファイルを取り込む】を参照してください。
- (6) 各インポータは IM-VisualDesigner クライアントツールのオプション機能になります。その為、文書によっては正常に取り込めない場合があります。各インポータの詳しい制限事項は、「IM-VisualDesigner ユーザーズマニュアル」の【4.既存の文書の取り込み】を参照してください。
- (7) Web ブラウザによって、IM-VisualDesigner クライアントツールで作成したフォームの表示が異なる場合があります。ブラウザ別の表示の差異については「browser.pdf」を参照してください。
- (8) IM-VisualDesigner は多言語に対応していません。クライアントツールは日本語表記のみになります。また、日本語以外の言語でフォームを作成することはできませんが、入力チェック時のアラートメッセージ等、英語環境でご使用いただいた場合でも、一部日本語で表示される個所があります。
- (9) IM-VisualDesigner と連携して作成したプロセス定義では、ワークフローの「一時保存」および「一括承認」の機能は使用できません。
- (10) IM-VisualDesigner と連携して作成したコンテンツでは、IM-Workflow の「連続処理」時に「対象処理」リンクは表示されません。その為、処理案件の切り替えを行うことはできません。
- (11) IM-Workflow と連携して使用する場合は、IM-WorkflowVer.7.2 patch01 が適用されていないと正常に動作しません。その為、必ず IM-Workflow のパッチを適用してください。また、IM-VisualDesigner のパッチを適用するには、対応する「IM-Workflow Ve.7.2」のパッチが適用されている必要があります。詳しくは、各パッチモジュールの「readme.txt」および「history.txt」を参照してください。
- (12) IM-VisualDesigner では IM-Workflow と連携して利用する場合は IM-共通マスタのマスタ情報を利用します。その為、IM-Workflow と連携する場合は、必ず IM-共通マスタをインストールしてください。

~~(13) クライアントツールでクエリ設計を行う際に、複数の DB フィールドの抽出条件に同じ変数を指定すると「データベースからデータを取得」アクションが正しく動作しません。そのため、複数の DB フィールドの抽出条件に同じ変数を指定しないでください。~~

パッチ 03 で解除されました。

- (14) IM-VisualDesigner の「印刷」アクションではブラウザの印刷機能を利用しています。その為、ご利用にブラウザによっては出力されたフォームのレイアウトが崩れる可能性があります。
- (15) その他、intra-mart WebPlatform / AppFramework Ver.7.2 の制限事項に準拠しています。
- (16) フォームに日付型のアイテムが存在する場合に、Microsoft SQL Server JDBC Driver 2.0 でドキュメント情報のエクスポートを行うと、エクスポート対象のテーブルは Date 型で登録されていても、エクスポートされた document.xml には NVARCHAR 型で定義されてしまう事象が発生します。  
これは Microsoft SQL Server JDBC Driver 3.0 を利用することで回避できます。
- (17) フォーム画面を更新した場合、その変更は即時に反映されます。既に運用を開始している場合にフォーム画面を更新する必要がある場合、ドキュメント履歴機能を利用してください。
- (18) フォームに配置されたアイテム名やカスタムスクリプトの変数名と、内部で使用しているリクエストパラメータが被る場合、フォームが正常に動作しない場合があります。例えば、テキストフィールドの名前を「imwFlowId」とした場合、IM-Workflow と連携したフォームで申請画面を開くと、テキストフィールドにフローIDが表示されます。内部で使用しているリクエストパラメータについては、各製品のプログラミングガイドをご参照ください。

#### 4. 既知の不具合

- (1) Web Application サーバに「WebSphere ApplicationServer」を使用している場合に「テーブル設定画面」および「ドキュメントの一覧表示画面」を表示した際に以下のエラーメッセージが出力されます。

「ソース jdbc/default は LocalTransactionContainment のクリーンアップでロールバックされました。」

「1 つ以上のローカル・トランザクション・リソースが、LocalTransactionContainment のクリーンアップ中にロールバックされました。」

- (2) データベースに「DB2」を使用している場合、移行ツールの「データ移行(ver71 - ver72)」画面を表示した際に以下のエラーメッセージが出力されます。

「接続でのトランザクション進行中に java.sql.Connection.close() が要求されました。」

トランザクションはアクティブのままとなり、接続はクローズできません。 ERRORCODE=-4471, SQLSTATE=null

#### 5. 著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。  
各ソフトウェアのライセンスについては、同封のライセンスシートをご参照ください。

以上

## 6. 変更履歴

変更年月日	変更内容
2010/08/31	初版
2013/03/01	<b>第 5 版</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 「2.2 クライアント要件」に追記しました。</li><li>● 「3 制限事項」項番(1)に追記しました。</li><li>● 「3 制限事項」項番(13)を解除しました。</li><li>● 「3 制限事項」項番(17)を追記しました。</li><li>● 「3 制限事項」項番(18)を追記しました。</li></ul>
2014/05/09	<b>第 6 版</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● Microsoft のサポート終了に伴い、WindowsXP および Internet Explorer 6 に関する記述を削除しました。</li></ul>